

多発性骨髄腫研究助成 2016 年度研究課題選考会総括

上記選考会を 2016 年 3 月 13 日(日)、丸ビルホール&コンファレンススクエア (東京都)にて日本骨髄腫患者の会・副代表 上甲恭子さんお立ち会いのもと選考委員会を開催しました。

委員会では、応募のありました研究課題 12 題について各研究の「重要性」「計画・方法の妥当性」「独創性」「波及効果」「遂行能力・研究環境」の 5 つの評価項目及び総合評価について、5 名の選考委員より事前に提出された集計結果と総合評価を元に、更なる意見交換を行った上で、2016 年度の研究課題を採択しました。

採択した課題は以下のとおりです。

堀之内朗記念助成 助成額 200 万円

徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔組織学分野 寺町順平先生

「骨髄腫特異的抗腫瘍活性と骨再生をもたらす新規分子標的薬の創出」

特別助成 助成額 150 万円

名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科分野 成田朋子先生

「高リスク多発性骨髄腫の病態解析および新規治療の開発」

応募いただきました課題はいずれも難治性疾患である多発性骨髄腫の克服に重要かつ優れた研究でありましたが、このうち上記の 2 課題を研究助成課題に採択しました。いずれの研究とも多発性骨髄腫に対する骨再生も期待できる新規治療の開発、また高リスクの多発性骨髄腫に対する治療戦略の開発をめざしたものであり、独創性・革新性にすぐれ、今後の発展を大いに期待したいところであります。

基礎研究、臨床研究を問わず、今後も骨髄腫研究の発展と診療の向上をめざし日夜奮闘されておられる諸先生から多数の応募があり、研究成果が患者のみなさまの治療に反映されることを祈っております。

2016 年 3 月

日本骨髄腫患者の会多発性骨髄腫研究助成 選考委員会委員長

日本骨髄腫学会理事

張 高明